

Japaneseische Industrie- und Handelsvereinigung in Berlin e.V.

BERLINER LUFT

2003年第2号(2003年7月31日)

ベルリン日本商工会
編集発行人：山本 憲生
Am Sandwerder 3.
14109 Berlin
TEL:030-8036070
FAX:030-8038905

目次

事務局からのお知らせ

在ベルリン日本関係機関催し等のご案内

寄稿「ベルリン再訪記」

三井住友銀行 業務監査部欧州駐在、資産監査部欧州駐在、部長 竹内雄介氏

ビジネスお役立ち情報

経済・産業関連ドイツ公的機関ホームページ情報

事務局からのお知らせ

1. 事務局報告と催し物お知らせ

- 4月30日(水) 商工会会報「ベルリナールフト」2003年1号発行・会員送付
ベルリン日本庭園開園式
- 5月 3日(土) ソフトボール大会開催 6チーム、約150名参加
- 4日(日) 日独親善昼食会。第2回桜祭り Teltow-Siegridshorst 参加
- 6月 3日(火) 林幹事送別会
- 6月 6日(金) 商工会主催アスパラガス見学会 28名参加
- 6月25日(水) 大使館領事部よりの「米国入国査証の取り扱い変更」お知らせ
- 7月 6日(日) 商工会主催ゴルフコンペ 於; Motzener See 26名参加
- 7月16日(水) アダモヴィッチ独連邦経済労働省事務次官と在独日本企業との意見
交換会 筒井副会長、岩崎副会長出席
- 7月16日(水) レストラン Shabu-Jo オープニング 松野
- 7月17日(木) T.IJIMA Export & Import 飯島氏 ライン幼稚園関口園長来事務所

- 7月31日(木) ベルリナールフトと会員名簿発送予定
- 8月20日(水) サッカーU12 東京選抜のベルリン遠征(～26日)
- 9月上中旬 ソフトボール大会
- 9月18日(木) 六本木男声合唱団
- 9月21日(日) 紅祭

2. 学校関係のお知らせ

ベルリンにある三つの日本人学校、補習校は夏休みに入りました。

各学校の2学期開始は下記の通りです。

- ベルリン日本人国際学校 8月19日(火)
- ベルリン日本語補習授業校 8月20日(水)
- ベルリン中央学園補習授業校 8月22日(金)

3. 求職情報

- (1) ドイツ人女性 27歳 (日本語、英語堪能)
- (2) ドイツ人女性 39歳 (日本語、英語堪能、フランス語可)
- (3) ドイツ人男性 37歳 (日本語、英語堪能) 物流・貿易業希望
- (4) 日本人女性 34歳 (ドイツ語)
- (5) 日本人女性 28歳 (ドイツ語、英語) ドイツ大学建築科卒業
- (6) 日本人女性 29歳 (ドイツ語、英語) 秘書、経理希望

4. ベルリン英語救急情報電話案内

過日、LANDESEINWOHNERAMT BERLINの待合室で下記情報を発見しましたので、ご存知の方もおられるかとは思いますが、ご参考までご案内申し上げます。

名称：HELPLINE-INTERNATIONAL HELPPPOINT

電話番号：030-44010607

説明と記載されていた想定ケース：

Berlin's English-Speaking Telephone Emergency Service
endorsed by Berlin Senate Commissioner of Foreigner's Affairs

- 1 Can't speak German and you need someone to talk to?
- 2 In crisis and don't know where to turn?
- 3 Need guidance to find local authorities and institutions?
- 4 Need an English speaking doctor?
- 5 Struggle with the unfamiliar German ways?
- 6 Need help with everyday life situations in Berlin?

在ベルリン日本関係機関催し等のご案内

下記情報は全て、各機関からお寄せいただいたものです。お問い合わせ等は、各当該機関に、直接ご照会ください。

1. ベルリン日独センター (電話：030-83907-0)

ベルリン日独センター 催し物

9月1日 9:00～9月2日 14:00 シンポジウム

「対サハラ以南アフリカ政策の日欧比較」 共催機関 日本国際問題研究所、学術研究財団

9月9日 14:00～18:00 パネルディスカッション

「E-ラーニングのためのメディアコミュニケーションを用いた認知と学習」

共催機関 教育システム情報学会、認知学研究協会他

9月17日 14:00～18:00 シンポジウム

「日本経済の将来 - 日本は競り合うことができるか」

共催機関 ドイツ日本研究所

9月25日 14:00～9月26日 12:00 シンポジウム

「欧州・日本・ロシア - グローバル化世界の立役者」

共催機関 ドイツ経済研究所

10月9日 19:00～ 講演会

「マキャベリの子供達」マサチューセッツ工科大学リチャード・サミュエルス教授

10月13日 10:00～10月14日 18:30 シンポジウム

「持続可能な政策」

共催機関 ヴッパタル研究所、地球環境戦略研究機関

参加ご希望の方はセンター担当部のタチアナ・ヴォンネベルクまでファックス(030-83907-220)か電話(030-83907-153)でお申し込み下さい。

その他詳細はベルリン日独センターホームページ(www.jdzb.de)をご覧ください。

2. ベルリン独日協会(電話:030-25751157)
住所:Kemperplatz 1, 10785 Berlin
FAX:030-25751158
E-mail:dig-berlin@t-online.de

(1)ミューリッツ自然公園へのバスツアー開催のご案内

Ausflug in den Müritz-Nationalpark(ミューリッツ自然公園へのバスツアー)

実施日時:2003年10月4日(土) 9時ベルリン発 21時ごろベルリン帰還予定

参加料金:大人21ユーロ、子供(14歳まで)8ユーロ

(バス代、案内代を含む。昼食は各自負担。案内は独語にて実施)

申込先:9月22日までに、独日協会へ、手紙・FAX・E-Mail(上記参照)でお申込ください。

当日の予定

09.00 Uhr	Abfahrt Fehrbelliner Platz (左記に集合、バス出発)
11.30 Uhr	Vortrag Günter Lertz ueber den „Müritz-Nationalpark“
12.30 Uhr	Mittagessen und kurzer Stadtrundgang in Waren
14.00 Uhr	Besichtigung des Nationalpark-Museums und Einfuehrung in den „Kranich-Mythos in Japan“
15.30 Uhr	Kurze Busfahrt nach Speck, durch Guenter Lertz gefuehrte Wanderung zur Rothirschbrunft und zum Kranich-Rastplatz
19.30 Uhr	Rueckfahrt von Speck
ca. 21.00 Uhr	Ankunft in Berlin (ベルリンへの帰還時間・同場所)

(2)紙紐創作展および講習会開催のご案内

Die Papierwelt des Masatoki Hirooka (ひろおか・まさとき氏の紙紐工芸の世界)

紙紐を使用した工芸作品で著名なひろおか・まさとき氏の作品展と、同氏のご厚意による創作ワークショップを下記の通り開催いたします。

Besichtigung (創作展): 14.10. und 16.10.2003 jeweils 16.30 Uhr

Treff (集合場所): Eingang Potsdamer Platz Arkaden,
von der Alten Potsdamer Str., neben „Bree“-Taschenladen

Workshop (講習会) 14. und 16.10.2003 jeweils 17.30 Uhr

Treff (集合場所) Lobby des Sony Professional Center, Kemperplatz 1

Unkosten (参加費、材料代として) 5 € für Material

Anmeldung (申込) bis zum 8.10.03 bitte per Brief, Mail oder Fax

(10月8日までに、独日協会へ、手紙・FAX・E-Mail(上記参照)でお申込ください。)

3. 森鷗外記念館(電話:030-2826097)

(1)VTR上映会 オルフェス

2002年11月30日、森鷗外生誕140周年記念行事として、東京で開催されたコンサートの模様を、当日収録したVTRでご紹介します。(解説:ペーパー女史)

日時:8月21日 18時~

場所:森鷗外記念館 Luisenstrasse 39

(2)展示会 「日本の諺と書」(～9月末)

場所：森鷗外記念館 Luisenstrasse 39

(3)常設展示会

森鷗外」 場所は上記と同じ 月 金: 10時～14時

日本の肖像」日本における文化的・学術的生活の代表者達(写真展)

場所：Zentrum fuer Sprache und Kulutur Japans:

Johannisstrasse 10

月 金: 9時～17時,

(4)日本映画上映会 いずれも夏期休暇中

場所：Zentrum fuer Sprache und Kulutur Japans:

Johannisstrasse 10

場所：Japanischer Filmclub im Arsenal

Potsdamer Platz

(5)コース

森鷗外記念館では、次のコースを開設(一部夏期休暇中)しております。

i. 書道および生花は夏期休暇中

ii. 茶道 8月24日(参加資格あり、要問合せ) 12:00

iii. 将棋 毎金曜日 19:00

森鷗外記念館のご紹介と会員へのお願い

同記念館からの依頼で、掲載いたします。

ベルリン フンボルト大学「森 ? 外記念館」のご案内とお願い

ご紹介

森? 外(当時は軍医の森林太郎でした)は1884年から1888年まで約4年間ドイツに留学していました。その間、ライプツィヒ、ドレスデン、ミュンヘン、ベルリンで学び、ベルリンには1987年の4月から1888年7月まで滞在しました。今回ご案内する記念館の建物には初めての2ヶ月間下宿をしていました。

当記念館は、1984年に、フンボルト大学ならびに日本の関係者の協力を得て、日独文化交流の先達であった森? 外を記念して開館されました。東独時代に出来たこの記念館は、現在フンボルト大学日本学科研究センターの附属施設の一つとして、森? 外研究を出発点として、日本の文化・思想の翻訳や研究およびそれらの広報を目的にしています。

記念館には、欧州で翻訳されている森? 外作品の一部や当記念館発行の「ヤポニカ・フンボルトティアーナ」「クライネ・ライエ」シリーズ等の展示に加え、森? 外が下宿をしていた当時の部屋を再現した記念室があります。また、? 外作品、? 外関連記事・論文をカタログ化する作業が行われている図書室や? 外直筆の書簡や娘の森茉莉直筆の書簡、? 外が独語で発表した記事や論文、日本の? 外記念館の発行物等が陳列された展示室があります。

なお、館内の多目的室では、特別企画展示会や講演会、様々な講座(書道、生花、茶道)や同好会(碁、着物)等の催しが開催されています。

当記念館は、フンボルト大学の一施設として、大学の予算で運営されております。ご来館いただく皆様から入館料を頂戴しておりませんが、事業活動のためのご寄付については喜んでお受けいたします。下宿当時の部屋の写真の絵葉書セットなどのご購入代金も事業活動に使われますので、皆様の暖かいご支援とご協力をよろしくお願いたします。

森? 外記念館 Luisenstrasse 39, 10117 Berlin

開館時間：月～金曜日 10時～14時

電話：++49-(0)30-282-6097 FAX：++49-(0)30-281-5068

ホームページ：<http://www2.hu-berlin.de/japanologie/mog/>

ご寄付のお願い

いまやベルリンにおける日独文化交流や情報交流の一大拠点としての役割と評価をいただいている当記念館およびその活動に対して、これまで、多くの在ベルリン日本企業様から数々の暖かいご支援を頂戴してきました。日本映画紹介の学術講演用に使用しているテレビやビデオ・レコーダー、日々の活動に使用しているコピー機、資料収集用に使用している写真機等の備品機器はもとより、記念館の2つの部屋の改築費用や家具の取り付け費用等が、日本企業様からのご寄贈やご寄付によるものです。

他方、森? 外記念基金から支給される利子は、記念館の催事の運営費用のみに限定されており、大型の備品等の購入は当面の経済状況からして、残念ながら困難な状況にあります。また、この現下の厳しい経済状況を鑑みるに、皆様方に寄付金をお願いすることもためらわれます。

現在、当記念館には、ホームページに取り込める写真撮影用のデジタルカメラも、スキャナーも残念ながらございません。また、コンピューターも大半が老朽化しており、ノートブック型コンピューターも差し迫って必要としております。

つきましては、当記念館のより幅広い活動のために、また、日本文化の振興のために、在独日本企業の皆様および日本との提携関係等にある独企業の皆様に、コンピューターやデジタルカメラ等の備品をご寄付いただきたくお願いさせていただく次第です。

(ご連絡は、当記念館 電話：++49-(0)30-282-6097 をお願いいたします)

沿革

- ・ 1965年6月川端康成(当時の日本ペンクラブ会長)、丹羽文雄(同 日本小説家協会会長)、高見順(同 近代文学館館長)の三氏が、独文学を日本に最初に紹介した森? 外の功績を称える記念銘板を、? 外のベルリンの最初の下宿に取り付けることを、旧東ベルリン市当局に要請。
- ・ 1966年記念銘板除幕式(Marienstr.32。1988年に現在のLuisenstr.39に移動)
- ・ 1984年11月、? 外訪独100周年を記念し、森? 外記念室開設。
- ・ 1987年1月、中曽根康弘首相(当時)訪独の際、森? 外記念室を視察。その後、旧東独高等教育省、記念館の拡充を決定。
- ・ 1988年、同高等教育省、記念室改築工事終了。フンボルト大学日本学科が記念館の建物に移転。同記念館、日本学科の所在地として、同時に日本学の講義・研究の場、旧東独日独文化交流の拠点として大きな役割を果たす。
- ・ 1989年、フンボルト大学ハース学長(当時)、昭和電工鈴木社長(同)、アサヒビール樋口社長の参列を得て6月森? 外記念館開館式典挙行政る。
- ・ 1990年、日本において、日本・DDR文化協会と森? 外記念館が記念館いじキャンペーンを実施、この際に寄せられた寄付により1993年までの記念館運営基金が整う。
- ・ 1993年、ベルリン日本車を置く株式会社シェーリングならびに日本国外務省からの寄付25万マルクにより、財団法人森? 外記念館設立。
- ・ 1994年日本において、財団資産増額のための基金募集活動が行われ、多くの日本企業や個人から、また、東京都と大王製紙社からの多額の寄付を得る。その後も日本国外務省の支援のもと、基金増額活動が行われる。
- ・ 1995年10月、記念館、フンボルト大学に新設された日本文化研究センターの附属施設となる。同12月、同センターの改築工事完了。記念館の活動について、家賃等基礎維持費、研究部門助手・文化広報担当員・学生助手の人件費をフンボルト大学とベルリン市が負担援助。
- ・ 1997年3月訪日控えたヘルツォーク大統領(当時)が記念館視察。

寄稿 ベルリン再訪記

三井住友銀行 業務監査部欧州駐在、資産監査部欧州駐在、部長 竹内雄介氏

ベルリン日本商工会発足時のメンバーであり、本誌ベルリナールフトの初代編集・発行者である竹内様が、去る6月に当地を訪問されました。その際、再訪記のご寄稿をお願いしたところご快諾いただきましたので、以下に掲載させていただきます。

『ルターさんへの手紙』

ルターさん

先日は突然お伺いしたにも拘らず、貴重なお時間を頂きありがとうございました。

93年に事務所を閉めて帰国してから今回は二度目のベルリンでした。ベルリンは変わりましたね。日曜日は暑かったので Pariser Platz の Hotel Adlon のカフェでサラダをツマミにビールを飲みました。88年9月 IMF ベルリン総会の際、その場所でブランデンブルグ門を背景に記念撮影をしたのを思い出しました。壁崩壊の1年前のことでしたが、誰も勿論そんなことを予想していませんでした。門の向こうの壁はおるか、警備隊がいるので門にも近づけません。ベルリンに赴任した90年の夏、そこはベルリンの壁のかけら等を売る屋台で混雑していました。今は本当に落ち着いた綺麗な広場になり、ブランデンブルグ門も誇らしげでした。家族連れも、カップルも若者達も思い思いにお茶を飲んだり、写真を撮ったり、噴水の回りで水遊びをしたり。門の向こう側にひっそりと並んでいる越境犠牲者の十字架が対照的でした。百年後の歴史家は20世紀後半の50年をどのようにとらえるのでしょうか。

Potzdamer Platz にも行きました。こちらは大変身。当時、模型を見せてもらった街並みが現実になっていました。人出は多く、それはそれで素晴らしいのですが、以前写真で見た1930年代の Potzdamer Platzの方が私のイメージに合います。すみません。それでも懐かしくて広場の周りの道をあちこち歩いてみました。道路表示を見るたびに、この道の名前に見覚えがある、とは思うのですが、当時の風景が思い出せませんでした。毎日車で通った道なのですが、いつか車の前を横切ったウサギの家族はどうしているかな、なんてつまらないことを思い出していました。今度お伺いする時は、当時の地図を持っていくことにします。

私達も事務所を構えていた IHZ も立派になりましたね。回りにいるんなお店を引き連れて、「俺も一人前のオフィスビルだ。負けるもんか。」と威張っているように見え、一人で笑ってしまいました。

でも、なんと言っても一番嬉しい変化は、ルターさんあなたのオフィスでした。初めてお目にかかった時と同じ IHZ の中の事務所ですが、当時はお仲間と3人でした。今は10人以上の弁護士さんが働いているとお聞きし、流石ルターさんと感心しました。不動産関係の法務に特化され、今も案件が一杯で大忙しとは本当にあなたは先を見る目のある方です。おかあさんと同じ弁護士の道を歩み始めたお嬢さんにもお目にかかれ嬉しく思います。当時は高校生でした。あれからボンの大学に進まれたことはクリスマスカードで連絡頂きましたが、りっぱになられました。今後益々のご発展をお祈りします。旧西ベルリンの高級イタリアンで、私とふたりで「インターナショナル」を合唱したご主人にもよろしくお伝え下さい。

2003年7月 ロンドンにて

竹内雄介

p.s. 私の大好きなポツダムのサンサーシ宮殿にも挨拶してきました。しつこいようですが、ポツダムと鎌倉はお似合いと今でも思っています。「首都近郊」「文化人」「撮影所」「武士」「ヨット」。姉妹都市の縁組にはぴったりと思うのですが。(了)

ビジネスお役立ち情報

日々の業務や日本への出張帰国時等のための資料を作成する際、簡単に、かつ最新の統計が入手できないか、ドイツで開催される見本市情報や過去の見本市の開催実績を入手できないか、ドイツで行われるビジネス関連催事情報を知りたい、ドイツ企業の情報を入手できないか等の照会がありますので、近年の文明の利器であるインターネットで入手可能で、お役に立ちそうな情報をご紹介します。

なお、今後も、ビジネス便利情報やベルリン生活情報について、皆様にご紹介していきたい、「これは便利だ!」「人に教えたくないけど便利な情報があるんだ!」等、皆様からの情報提供をお願いいたします。(事務局にお電話いただければ幸甚です。030-8036070 松野宛あるいは本誌編集事務局 ジェトロ・ベルリン 岩崎正博宛 Masahiro_lwasaki@jetro.go.jp ホームページにてお寄せいただければ幸甚です。)

在独日本大使館

<http://www.embjapan.de/index.html>

<http://www.de.emb-japan.go.jp/nihongo/>

日本貿易振興会(ジェトロ)

<http://www.jetro.de/d/index.php>

<http://www.jetro.de/j/index.html>

統計情報

http://www.destatis.de/e_home.htm

ドイツ語のホームページ

日本語のホームページ

ドイツ語のホームページ

日本語のホームページ

連邦統計局のホームページ。ドイツの一般統計から各種経済・産業統計の公式発表や報道リリースが入手できる。一部については英語情報もあり。

統計情報

<http://www.bundesbank.de/>

ドイツ連銀のホームページ。金融関連統計、英語情報もあり。連銀月報も一部閲覧可。

連邦議会(衆議院)

<http://www.bundestag.de/>

議会概要、議員リスト等あり。英語情報あり。

連邦参議院

<http://www.bundesrat.de/index.html>

議会概要、議員リスト等あり。英語情報あり。

連邦政府

<http://www.bundesregierung.de/>

連邦政府の公式頁。英語情報あり。

連邦首相府

<http://www.bundestkanzler.de/>

連邦首相の公式頁。演説文の頁もあり。

連邦経済労働省

<http://www.bmwi.de/>

同省経済月次報告も掲載。英語情報あり。

連邦外務省

<http://www.auswaertiges-amt.de/www/de/index.html>

英語情報あり。

連邦財務省

<http://www.bundesfinanzministerium.de/>

同省月報も閲覧可。

連邦消費者保護・食料・農林省

<http://www.verbraucherministerium.de/>

英語情報あり。

連邦環境・自然保護・原子炉安全省

<http://www.bmu.de/de/1024/js/base/>

英語情報あり。また、子供用の専門頁もある。

連邦特許・商標庁

<http://www.dpma.de/index.htm>

連邦外国貿易情報庁

<http://www.bfai.de/>

ドイツ経団連

<http://www.bdi-online.de/>

全独商工会議所

<http://www.diht.de/>

在日ドイツ商工会議所

<http://www.dihkj.or.jp/>

ドイツ企業の対外ビジネス支援

<http://www.ixpos.de/>

外国企業のドイツでのビジネス支援

<http://www.ixpos.de/en/en.html>

ドイツの見本市に出展するための ガイド情報(ドイツ見本市協会 AUMA)

<http://www.auma.de/>

ドイツへの投資関連情報

<http://www.invest-in-germany.com/>

ドイツ企業ダイレクトリー-1

<http://www.sachon-exportadressbuch.de/cl/sid.php>

ドイツ企業ダイレクトリー-2

<http://www.made-in-germany.com/>

ドイツ鉄道

<http://www.bahn.de/>

ドライブ情報

<http://www.map24.com/>

電話割引番号情報

<http://www.tariftip.de/>

ドイツ企業の対外ビジネス支援機関、連邦外国貿易情報庁のホームページ。各国市場概要、輸出入規則等有益な情報も多い。英語情報もあり。

経団連の活動や各種委員会の概要、経済関連統計あり。

ドイツ各地にある商工会議所の全国組織。同会議所による会員サービス内容や会員企業へのアンケート調査結果の掲載もある。

業務内容やサービス紹介、会員名簿も閲覧できる。

連邦経済労働省制作のドイツ企業の対外ビジネス支援頁。支援機関リスト、各種市場情報等が掲載されており、外国企業とのビジネスをしたいドイツ企業支援への道案内頁。国内で開催されるビジネス関連行事カレンダー(業種、場所、日時、形態で検索可)あり。

連邦経済労働省制作の外国企業の対独ビジネス支援頁。支援機関リスト、ドイツ企業ダイレクトリー、ドイツの見本市情報や出展ガイド、各種統計情報等が掲載されており、ドイツとのビジネスをしたい外国企業支援への道案内頁

トップ頁から英語を選択して実行。ドイツの見本市情報、出展申込先、出展留意事項情報に加え、出展経費シュミレーションも可。

外国企業向けの対独投資情報。各種手続き概要、各州概要等有益な情報が多い。

ドイツ経団連(BDI)がSACHON出版社の協力を得て作成している企業ダイレクトリー業種別・品目別等で企業検索が出来、各企業のHPやメール連絡等の情報も掲載されている。

ドイツのサプライヤー名鑑集。職業別電話帳等企業ダイレクトリー数種が検索できる。

出発駅と到着駅、出発あるいは到着希望日時等を入力すると適当な鉄道便情報や料金が表示される。また、インターネット上からの購入申込も可。

出発地と目的地住所等を入力すると、英文で経路案内が掲示されるので便利。

ドイツからの内外電話料金割引システム番号案内集。曜日や時間帯で最も安くなる電話番号を検索できるシステム。